

# 世界に誇る 温泉文化

日本は世界屈指の“温泉大国”である。源泉数が2万7000本を越え、その湧出量は毎分約260万リットルにもものぼる。

特に日本には3085ヶ所の宿泊施設があり、地域の大衆浴場は日本を象徴する文化のごとくに位置づけられ、世界でも「風呂好き民族」として有名でもある。



そのような中、別府市は、その湯出量、泉質数、源泉数などにおいて、群を抜いている事から「日本一、世界一」と謳われてきた。

しかし、忘れてならないのは、その恵みによって地域に根付いてきた公衆浴場である。別府市12万都市の、狭いこの一地域（約30 km<sup>2</sup>）、東京一区ほどの地域に、なんと200を超える浴場がある。

（※ 因みに、面積32km<sup>2</sup>の杉並区には、公衆浴場は約20）

それらは、時に体と心の癒しの場として、時に交流の場として、地域に根付いてきたのである。まさに世界にも類まれな温泉大国日本を象徴する「温泉文化」と言ってもよいものである。

しかし、悲しいかな、その「温泉文化」を象徴する浴場数も、現在は200から100ヶ所ほどに半減し、現在に至っている。

少なくとも、現在残るこの浴場を維持する事は、日本の伝統文化を守る事にも通じている。このことを現代に生きる私達は理解し、次代に継承することの責務を感じる。

この200ヶ所の紹介がその一翼を担う事を願っています。